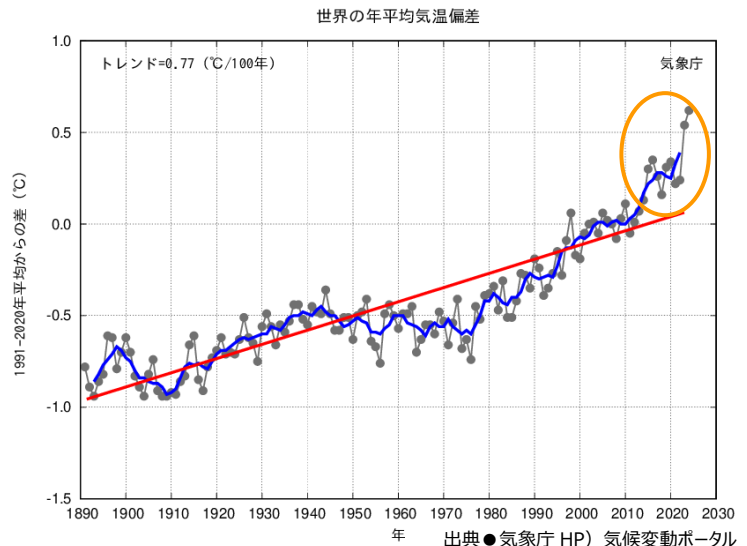


はじめに ～気候危機と子どもたちの未来に向けて～

深刻化する温暖化

地球温暖化が止まりません。夏の猛暑と記録的に長い残暑は記憶に新しいところです。近年は、「気候危機」「地球沸騰化」等の強い言葉で表現されることが多く、深刻さを伝えるとともに、私たちの行動を促しています。

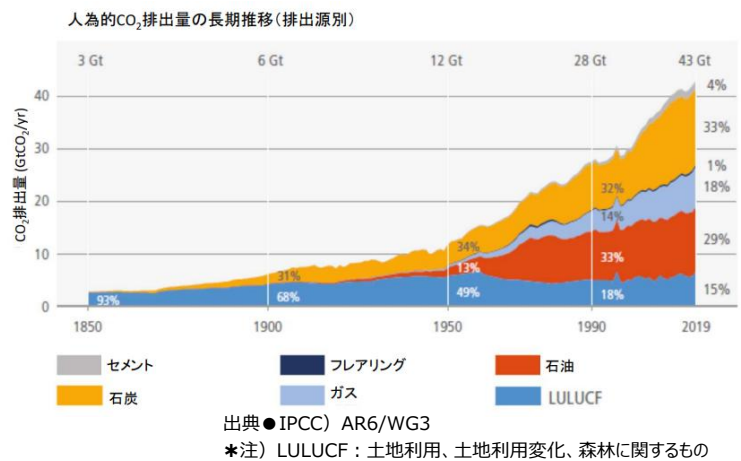
世界の平均気温は、観測データの得られる過去150年間で最も高い状態が続いており、**最近11年間の気温が上位11位までを独占している**状況です。（グラフ中の○）



温暖化の原因は人類の活動

IPCCの第6次報告書（最新）では、**人類の活動の温暖化への影響について「疑う余地はない」**としています。その大きな原因が、人類の化石燃料消費による大気中の二酸化炭素の増加です。（右グラフ）

化石燃料は、地質時代に生物が大気中のCO₂などを固定して、数千万年～数億年の長い年月をかけて生成されたものですので、再生できない有限な資源です。**「地球は未来からの借り物」**ということばがあります。限りある化石燃料を過剰に使って、大気を汚したままの地球を未来の子どもたち、孫たちに返すわけにはいきません。



私たちは、根本原因である化石燃料への依存から脱却し、人為的なCO₂排出ゼロを目指しています。**2050年のゼロカーボンは、全世界が合意した目標**です。

省エネが最重要

CO₂を減らす対策は、大きく分けて3つあります。

- ❖ 省エネ・節電で、エネルギーの使用量を減らす
- ❖ 再生可能エネルギー（自然エネルギー）を増やす

化石燃料の代わりに、CO₂を出さない方法でエネルギーをつくり出す（太陽光発電、地熱発電等）。

- ❖ 森林のCO₂吸収を増やす 伐採と植林で、森林を元気にします。

ゼロカーボンの実現のために、長野県の実行計画では、**エネルギーは70%の削減が必要**としており、**省エネは最重要**となります。

私たち長野県地球温暖化防止活動推進員有志は、今年度も『冬の省エネガイドブック』を作成しました。深刻化する気候危機の中で、経済や家計を苦しめているエネルギー高騰も意識して、実践的な事例を主体としています。長野県の冬の気候特性に合わせた取り組みや工夫も随所に入っており、皆様の役に立つ部分がきっと見つかると思います。美しい地球と子どもたち、孫たちの未来のために、少しでも役立つことを祈念して、まえがきとします。

2026年1月 有志代表 宮澤 信

